

ののおお市政

55. 11. 1

No. 324



子供らに大きな夢を

創作劇にいとむ

「声が小さいですよ、もっと大きく」「ちょっと早口ですね、もう少しゆっくり読んで下さい」と、台本の読み合わせにも熱がこもっています。

ことし3回目の子供芸術劇場は自分たちの手による創作劇を自分たちで演じ、子供に楽しい夢を与えよう

と、11月30日の初公演を目指し熱心に練習しているグループがあります。

このグループは「まほう流れ星を成功させる会」のみなさん40人です。

シナリオは岩田美子さん（劇の会メルヘン代表、会員20人）が半月がかりで書き上げたもので、題名は「ま

ほう流れ星、です。

岩田さんは「初めてのことなのでうまくいくかどうか、とても心配です。でも、みんなが一生懸命打ち込んでいる姿はすばらしいと思いますし、このプロセスを大切にしたいです」と話しています。

快調！循環道路の建設工事

真名川大橋が完成

親子三代の夫婦ら喜びの渡り初め

南新在家〜下麻生島を結ぶ



渡橋式には乳牛や農機具もお目見え

県が53年10月から工事を進めていた広域農道（広域営農団地農道）の真名川大橋が完成し、10月17日中川福井県知事や川崎大野市長をはじめ富田・大野下庄東部の両土地改良区理事長ら関係者 200 人が出席して、

現地で盛大に渡橋式が行われました。完成した橋は南新在家と下麻生島（千束）を結ぶ全長 248.9m。幅員は車道 6.5m で、両側にはそれぞれ 1m の歩道が設けられています。事業費は 3 億 6,500 万円です。濃いブルーの橋げたにアルミ製の白い欄干は広域農道にふさわしい配色になっています。渡橋式は午前10時から同大橋の下麻生島寄りで行われ、神事に続いて中川県知事や川崎市長、松田太郎・

米村喜六両土地改良区理事長らによってテープカット。その後、橋の末永い安全と無事を願うために招待された松田義夫さん（新河原、80歳）ら 5組の親子三代の夫婦を先頭に、関係者らは喜びをかみしめながら渡り初めをしました。また、富田酪農団地からは乳牛の親子三代が特別参加したのをはじめトラクターや田植え機などの農機具 7台も繰り出し、広域農道らしい渡橋式でした。

産業・教育文化の発展に

南新在家区長 松田 正治さん

近代的で立派な真名川大橋が完成し、永年の夢がかなった喜びをかみしめながら、これまでの各関係機関と地係区民の多大なご労苦に感謝します。

この大橋の開通により、今まで川向いとして交流の少なかった富田北部地区が名実共に隣村として身近になるとともに、市街地を囲む環状線として農産物の流通など産業道路として農村の近代化の重要な役割はもちろん、教育文化の面にも波及し、今後ますます市の発展につながると思います。



よろこびのこえ

身近になった隣村

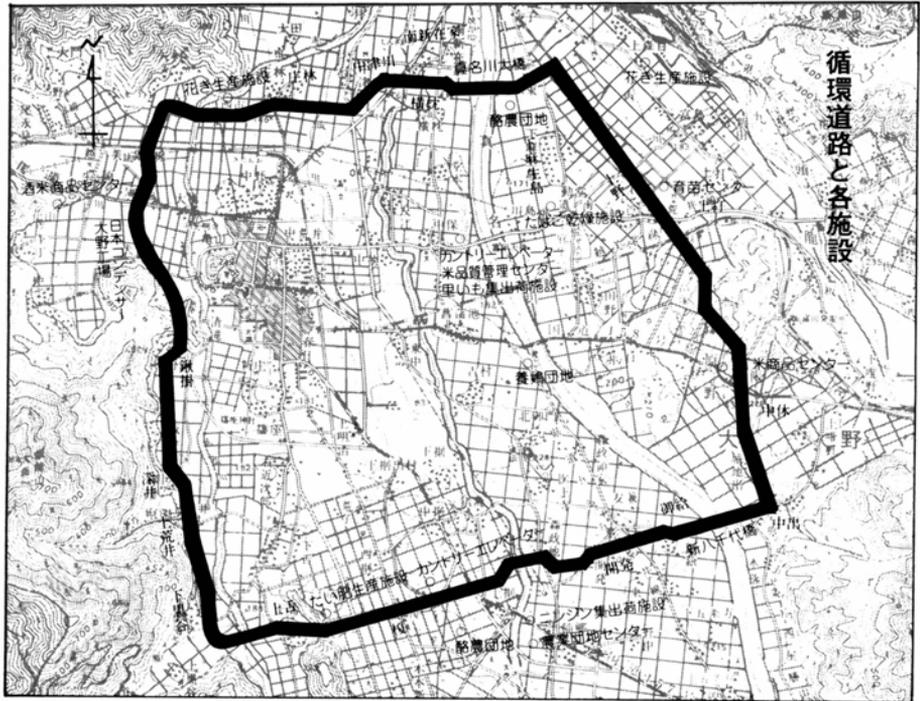
下麻生島婦人会長 上野 法子さん

下麻生島は富田大橋と土布子橋の中間にあり、今まではこの両橋を利用して市街地と交流してきましたが、いずれも回り道のためこの度の大橋完成を一日千秋の思いで心待ちしておりました。これで下麻生島と南新在家が結ばれたので一層便利がよくなり、地元の喜びはひとしおです。

これまでは川の向こうにある村は目前に眺めながらも遠い所という感じでしたが、これからはより身近になり80年代の地域の発展が、この橋の完成によって期待されます。



全長二十三キロで盆地を一周



農産物の集出荷が便利に

沿道には各種の施設

この循環道路は48年から県と市が上図のように幅員8メートル、全長23キロ（広域農道17キロ、一般農道4.5キロ、国道併用1.5キロ）で大野盆地を一周する道路として建設を進めています。

工事は道路の性格から奥越耕地事務所・大野土木事務所・市土木課の3者が分担し、奥越耕地事務所では総事業費35億円で16.1キロ（楯掛～上舌間の一般農道4.5キロと、広域農道11.6キロ）を担当。

このうち、既に楯掛～上荒井間、榎～御給間、中津川～横枕間が開通していますが、こゝしは下麻生島～横枕間と上舌～榎間、それに上荒井～黒谷間が開通します。

同耕地事務所では来年、御給～蔵生（中出）を結ぶ新八千代橋（180メートル）を架設して、同区間を開通させるほか、57年度は黒谷～上舌間、58年度には中津川～日本コンデンサー大野工場間の開通を目指しています。

一方、大野土木事務所は蔵生～土打間の3.6キロを8億7,000万円で整備を進めています。これまでに1億5,600万円をかけて、ほぼ中休～尚徳中学校付近までの約1.4キロを整備しています。

さらに市土木課は土打～下麻生島間の2キロを担当していますが、昨年度までに8,250万円を投じて拡幅工事を終えました。こゝしから8,000万円をかけて57年度までに舗装を完了する予定です。

この循環道路が完成しますと農産物の集出荷などが大変便利になり、機械化もさらに進んで、4,800口の田畑が恩恵を受けます。

開通した道路沿いには既に酪農団地やントリーエレベーター・タバコ乾燥施設などが建てられており、今後も里も貯蔵施設や農業機械修理センター・イチゴ加工施設をはじめ、各施設が建てられる計画です。

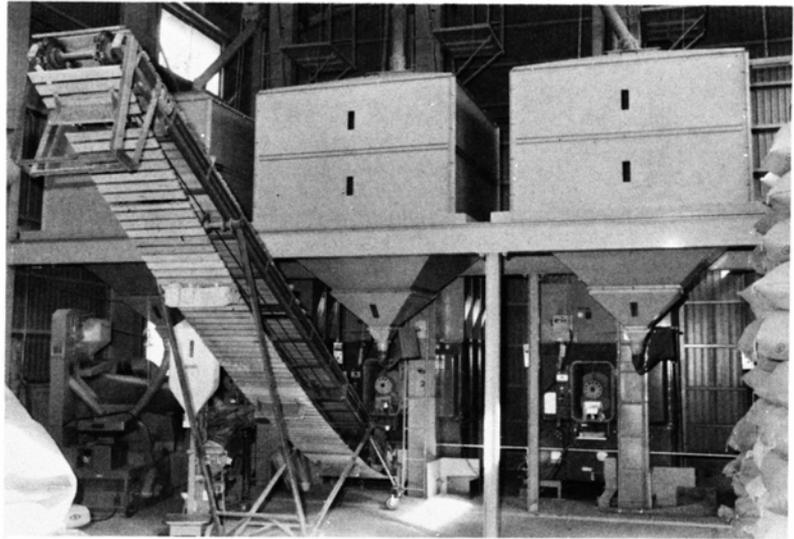


道路沿いの諸施設

機械や施設を充実

乾側採種組合

規模・品質とも県下一



完成した乾燥施設

乾側採種組合（羽生重一組合長、組合員95人）は、種もみ生産の近代化を一層進めるため、ことし総事業費8,100万円をかけて、収穫用の機

械や乾燥施設などを整備しました。この事業は同組合が事業主体になって、国・県・市からの補助を受け良質の種もみを能率的・近代的に生産するために、機械や設備を整えたものです。

新しく備えられた設備は採種専用コンバイン25台（2条刈り）・乾燥機9台・貯りゅうタンク9基・コンプレッサー2台（コンバインなどの清掃用）・乾燥施設2棟（鉄骨平屋建て）農機具格納庫2棟（鉄骨平屋建て）などです。

現在、県内で種もみを生産している団地は6箇所ありますが、乾側採種組合はそのうち最も大きい団地になっています。

当市は①盆地のため高温多湿である②朝・昼・夜の温度差が大きい③特に乾側地区は地力がある——などから、気象・風土ともに米づくりに適しており、県下で最も良質の種もみを生産しています。

種もみは95%以上の発芽率であることが必要で、これまではもみに傷が付くため普通のコンバインでは収穫出来ず、手刈りをしてハーベスターという特殊な脱穀機を使っていました。

ところが最近、種もみ収穫専用のコンバインが開発され作業能率が大幅に改善されたため、同組合でも今回25台を備えました。

ことし同組合では、コシニシキ・五百万石・コシヒカリ・フクホナミ金紋錦・日本晴れ・九頭竜の7品種を110ヘクタールで生産し、564トンの収穫を見込んでいます。

市内で最大の広さ

弥生公園の整備進む

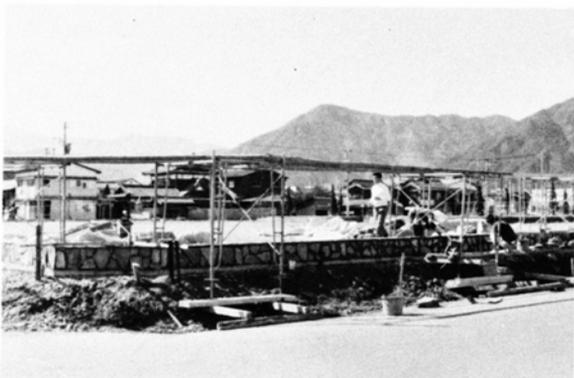
昨年12月から、弥生町（建設省真名川ダム工事事務所跡地）で建設されている弥生公園の工事は、順調に進んでいます。

既に昨年度1,200万円で土盛りと西側部分の外周壁・植樹帯・排水溝

の工事を完了しており、また中央付近には池を配しています。

ことしは600万円で、残った東側部分の整備と砂場を造成しています。

面積は8,100平方メートルで、駅東公園を上回る市内で一番大きな児童公園となります。また多目的の広場は全体の半分以上を占め、子供たちがいろいろな遊びを楽しめるように配慮されています。遊具やベンチなどの整備や樹木の植え付けは、引き続き来年以降に行い、57年に完成する予定です。



市内最大の児童公園として整備される同公園

米食の実態と今後の意向

20歳未満に多い「朝食ぬき」

市米消費拡大推進協議会が調査

大野市米消費拡大推進協議会（8関係機関、6団体で構成）はこの9月、米食の実態とこれからの意向をは握するために、市内の米消費世帯の300人を対象に「米食に関するアンケート調査」を行いました。その結果、子供のいる家庭ではない家庭に比べると1人当たりの平均消費量はかなり少なく、子供の米離れの傾向があることや、朝食をとらない人が約29%もありその中でも42.5%が20歳未満の人が占めていることなどがわかりました。

ご飯を食べる人

夕食が最も多い

この調査は市内の3米穀商組合などの協力を得て行われ、254人（回収率84.7%）から回答をいただきました。

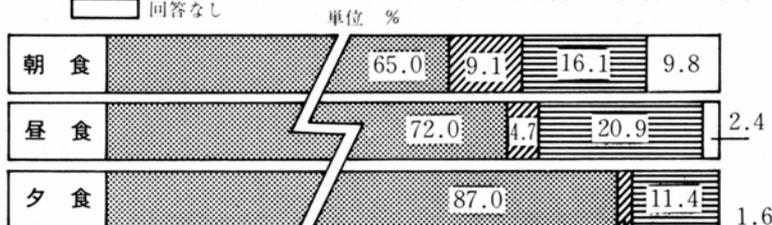
調査は9項目です。主な内容をご紹介します。

まず、**主食は何にしているか**という問いを3食に分けて答えていただいたところ、表①のように「毎日ご飯」にしている人を見ても、朝食が65.0%、昼食が72.0%、夕食が87.0%となっており、1日のうちでも朝食と夕食ではかなりの差があることがわかります。

次に、**家族で朝食をとらない人がいるか**と尋ねたところ「いない」が71.3%で「いる」が28.7%にもなっています。この朝食をとらない人

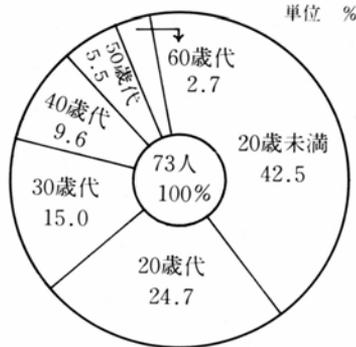
表①

毎日ご飯
週に半分はご飯
たまにパンかめん類
回答なし



を年代別にみますと、表②のように20歳未満の人が42.5%を占めており、以後年代が上がるにつれて低くなっています。

表② 朝食をとらない人



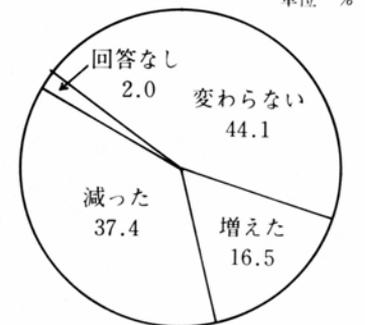
これからの消費量

大半が今と同じ

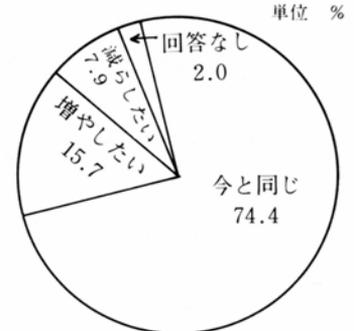
今と5年前の米の消費量の比と、これからの予定を表わしたのが表③です。

まず、5年前と比べた消費量ではその間の家族構成の変化なども考え

表③ 5年前との比較



今後の予定



られますが「変わらない」が44.1%「増えた」が16.5%「減った」が、37.4%になっておりかなり少なくなっていることがわかります。

さらに、**今後の消費予定**については、74.4%が「今と同じ」と答えているのに対し、15.7%が「増やしたい」と思っており、逆に7.9%が「減らしたい」と答えています。

子供の主食

25.3%がご飯以外

子供の主食についての問いに対しては「ご飯」としている人が71.7%ですが、25.3%の子供は「パンやめん類など」を主食にしていると答えています。また、1カ月の米の消費量をみますと、1世帯平均で30.1kg、1人当たり平均5.6kgになり、このうち、子供のいない世帯だけをみますと、1人当たり平均7.9kgと多くなります。

これは、子供の食べる量そのものが大人に比べて少ないということもあるものの「米離れ」の傾向を伺うことが出来ます。



川縁さんを中心に練習に励むみなさん

音楽講座

地元の熱心な愛好家

楽器の提供も指導も

富田公民館では地元の熱心な音楽愛好家を中心にして市内でも珍しい音楽講座を開いています。この講座は歌

油絵講座

高度な技術を習得

一流の講師を招く

市教育委員会ではことしから、これまでに油絵を描いた経験のある人で、さらに高度な技術を習いたい人を対象に、県下の一流の日展作家を講師に招いて油絵講座を開いています。この講座には高校生や一般市民など24人が参加。回数は5回ですが内容は静物・人物・風景などに分かれており、毎回会場を変えながらやや専門的な練習をしています。

油絵講座は大野公民館でも約20人が参加して開いていますが、同講座はこれから油絵を始めてみたい人や、始めてから間もない人などを対象にした基礎的な内容になっています。

油絵を始めて6年目という西田修二さん（中荒井、29歳）は「大野には絵をやりたくても習うところがなく、福井の油絵教室に3年通いました。絵はキャンパスに感情を表現することだと思いましたが、1人でも理解してくれたときは本当にうれしいです」と、話しています。

また、山田芳恵さん（五条方、37歳）は「私は絵が下手ですが、一流の講師に習えるというので思い切って参加しました。大変難しいですが、今まで不思議に思っていたことが先生のお話しや、みなさんの描き方を見てるとよくわかります」と、喜んでいました。

潤いのある

11月3日は文化の日。文化は、はいわゆる芸術に限られません。私たちの生活のすべてが文化と結びついています。市内には心豊かで潤いのある生活を求めるため、たくさんの人々が文化活動に励みながら市民文化を創造しています。市では「奥越史料」や「大野市史」などの郷土誌の編さんを

を歌ったり聴いたりするのではなく、楽器を演奏しようというものです。

現在受講者は8人で、中には初めて楽器を手にする人もいます。練習は週に1回、人前で演奏が出来る日を目指して精を出しています。この講座に使う楽器の提供と指導は、大の音楽好きの川縁俊夫さん（上野、65歳）。

川縁さんはこれまでの職場でバンドを結成し、20年間そのリーダーとして活躍するかたわら、毎年こつこつと楽器をそろえてきました。

50年に退職しましたが、その当時にはトランペット・テナーサックス・トロンボーン・ドラムなど約15種類の楽器が40人分にもなっており、プラスバンドが編成出来るほどでした。なんとかか地区内でバンドを作ろうと、自分なりに仲間を募ったもの思うようにいかず、昨年からは音楽講座について公民館と話し合いを進め、ことし2月ようやくスタートしました。

川縁さんは「知らないうちに楽器がたまってしまって手入れをするのが精いっぱいなんです。そろえた楽器を使ってみなさんと一緒に練習して、将来は軽音楽バンドを作りたいですね。音楽は心にゆとりと安らぎを与えてくれますからね」と、話しています。

練習も楽器の音を出す基礎練習から、簡単な曲を演奏するようになった段階。女性向きの楽器もあるので大いに女性の受講者を求めています。ご希望の方は富田公民館（6-4101）へどうぞ。



見事なタッチでモデルを描く

生活を求めて

はじめ、私たちの祖先が築き上げ残していった数多くの文化財の保存に力を入れるとともに、市民会館を中心に文化講演会や子供芸術劇場・音楽鑑賞会・美術展などを開いたり、各公民館では21の文化講座を開いています。今月はこのうちいくつかの文化講座にスポットを当ててみましょう。

木彫講座

木づちも軽やか

多い女性の参加者

「トントントン」「カンカンカン」とノミを打つ木づちの音がリズムカルに講堂いっぱいに響きます。

大野公民館の木彫講座には20人が受講。その大半が女性で占められているのが意外な感じがします。

講座は月2回。講師は仏像彫刻家の前田芳雲さん（清滝、66歳）です。

平均して4講座で1つの作品が完成するペースですが中には家で暇を見つけてコツコツと進めている人が多いようです。



ノミさばきも上達、楽しさいっぱいの木彫講座

「彫刻は絵に比べると、立体的な形を表現しやすいので女性の参加者が多いのだと思います。彫刻を始めると正確に物を見る感覚が養われますし、日常生活面でもむだがなくなりますね」と、前田さんは話しています。

この講座の運営委員長を務めている千田正さん（高砂町、62歳）は「家で暇さえあれば彫っています。これまでに観音さんを何体も集めました、見ているうちに自分で彫りたくなってこの講座に参加しました」と、いかにも楽しそうです。

これまでに4体の観音さんを彫ったそうです。また、宇野美子さん（泉町、46歳）は「子供に何か残してやろうと思って初めましたが、なにしろ木づちを持つのも初めてなので、始めのうちはよく手がかったものです。出来上がった作品を家に飾っておくのは楽し、だし、だんだん上達する様子がよくわかります」と、うれしそうに話していました。

水墨画講座

待ちどおしい練習日

各年代に幅広い人気

下庄公民館では4年前から水墨画講座を開き、毎年根強い人気を得ています。ことしも高校生から60歳代のお



熱心に講師の指導を受ける受講者

年寄りまでの幅広い年齢層から20人が参加しています。

最初からずっと続けている人、ことしから始めた人などいろいろです。練習は月2回。

この講座が始まったときから指導に当たっている滝波与六さん（中野1、79歳）は「これまでの日本は経済先行型でしたが、最近そうした社会にむなしさを感じたり、心の不安のよりどころを求める人が多くなったのではないのでしょうか。そのためこのような長期的な講座にも参加者が増えているのだと思います」と話しています。

滝波さんを学校時代の恩師とし、最初から参加している原文子さん（新在家、56歳）は「先生からやってみないかとお誘いがあったので始めました。それまでは10年余り書道を習いましたし、俳句も少々。ですから、俳句を作り、筆で書き、墨絵を添える楽しみがあります」と、月2回の練習も待ちどおしそうです。

また、本紙の講座案内を見てことしから始めたという田中徹さん（城北町、32歳）は「何かやってみたくらい一番簡単そうな水墨画を選びました。しかし、なにしろ墨一色の濃淡だけで表現するものですし、筆のさばきも大変難しいですね。でも、いつかは自分で描いた絵を家に飾ることが出来ると思うとうれしいですよ」と、楽しそうに話しています。

史跡百間堀を改修

将来は水をたたえて保存



改修が終わった百間堀

市教育委員会はこの程、城町にある市指定文化財「百間堀」の改修工事を行いました。

この堀跡は天正4年(1576年)に

金森長近公が大野城を構築したときに造られたもので、当時は名称どおり100間以上あったものと推定されています。明治以降民間に払い下げのため埋め立てられたり、大野高校の敷地になったりして、現存するのは長さ33^m、幅8.4^mの約277平方^mだけです。

築城された時代の名残をとどめる史跡として貴重なものですが、近年

はヘドロや雑草によって不衛生な状態になっており、また観光の面からも早期改修が急がれていました。

今回の工事では、掘削機で約40^{cm}掘り下げて草やヘドロを取り除き、次に栗石と砂利を敷いて埋め戻す作業が行われました。総工費は約100万円です。

この改修によって、将来は水をたたえた堀に復元させることが可能になりました。



③ 西里町

下掘地籍にある西里住宅団地の80戸と個人住宅約20戸とで西里町が構成されています。この団地は40・9風水害で壊滅的打撃を受けた西谷村民のために造られたものです。以来15年の歳月が流れ、今は西谷出身者が少なくなり若い世帯が数多く入居しているようです。

町内の連帯感を強めるために、3年前から盆踊り大会を始めたそ

うです。団地の中央にある広場近くには共同浴場があり、すぐ近くのスーパー店「ふる里」では入浴券が売られていました。

広場の近くには公民館があり、訪ねたときは、文化祭のために春日地区や団地の婦人30人ぐらいが民謡踊り「河内音頭」「江州音頭くづし」等を猛練習中でした。指導者の筒井房子さんは西谷出身で、大阪で踊りの修業を積まれた方です。筒井さんの実弟に当たる小倉正恒氏は日本空手道糸州会6段の腕前であり、ここで空手の道場「創心館」を開き、会員100人を越え市岡福二氏(3段)とともに週3回指導に当たっています。

区長の若山秋俊氏(もと中島の氏子総代)は「大きな寄り合い世帯ですが何事にも全員協力的で、1つのまちとして大変よくまとまっています」と、話しておられました。(T生)



国民年金の老齢年金

現況届は誕生月に

国民年金の老齢年金または、通算老齢年金を受けておられる方の現況届は、ことしの4月から、その方の誕生月の末日までに提出していただくことになっています。

まだ勘違いをされて年金係へ問い合わせがありますが、間違いのないようにして下さい。用紙は約1カ月前に本人あて送られてきますので、市役所市民課で証明を受けて社会保険庁へ送付して下さい。

スマイル

「朝食ぬき」

活気ぬき

——カルテ

お知らせ

◆精神衛生の講演会

登校拒否やシンナー遊びなど、社会問題化している子供の非行について学習を深めようと、講演会が次のとおり行われます。入場は無料です。
〈日時〉11月7日(金)午後1時
〈場所〉大野保健所
〈演題〉「青少年の健全育成」
〈講師〉松原太郎氏(松原病院院長)

◆保育講演会

大野市では、幼児の育成に役立ててもらうため、次のとおり保育講演会を開きます。入場は無料です。
〈日時〉11月8日(土)午後7時
〈場所〉市民会館大ホール
〈演題〉「子供ごころを探る」
〈講師〉秋葉 英則氏(大阪教育大学助教授)

◆くらしの講座

今月のくらしの講座は、次のとおりです。どなたでも受講出来ます。
〈日時〉11月13日(木)午後1時30分～4時
〈場所〉大野公民館
〈内容〉バランスのとれた食事
〈講師〉清水 瑠美子氏(福井市)
~~~~~  
〈日時〉11月20日(木)午後2時～4時  
〈場所〉有終会館  
〈内容〉薬と化粧品について  
〈講師〉賀川 恵子氏(武生市)

## ◆市営バス白山線が運休

大野三番と鳩ヶ湯を結ぶ市営バス白山線は、11月16日から冬期間運休します。運転再開は来年4月中旬の予定です。

## ◆農業祭は8・9日に

収穫の喜びを味わい併せて農林業について考える、ことしの農業祭は次のとおり行われます。  
野菜の即売会・動物広場・バザー

## 皇太子殿下ご夫妻

### お元気に当市をご視察

第4回全国育樹祭にご臨席のため福井県へお越しになられた皇太子殿下ご夫妻は、晴天に恵まれた9日当市をご視察にられました。



市民会館前でお迎えを受けられるご夫妻

西谷物産では、あざやかに仕上げられていく水引細工を熱心にご覧にられました。その後、市民会館で開かれた「あすの奥越を考えるつどい」にご臨席。

お立ち寄り個所やご順路につめかけた市民に、ご夫妻は終始にこやかにこたえておられました。

などの各種コーナーや演芸など、盛りだくさんの行事がみなさんのお越しをお待ちしています。

〈日時〉11月8・9日(土・日)

午前9時～午後4時

〈場所〉大野市農協会館・有終東小学校

## ◆56年家計簿のあっせん



大野市貯蓄推進委員会は、来年の「明るい生活の家計簿」を1冊240円でみなさんにお分けします。

11月20日から、市役所生活環境課において、現金引き換えでお渡しします。

数に制限がありますので、お早めにお求め下さい。

## ◆市民バトミントン大会

〈日時〉11月16日(日)午前8時30分

〈場所〉大野高校体育館

〈競技方法〉経験者と初心者に分けダブルス(男子・女子・混合)で行う

〈申し込み〉11月8日(土)正午ま

でに市教育委員会体育課(6-1111内線409)へ

## ◆奥越駅伝競走大会

第17回奥越駅伝競走大会が11月9日(日)午前11時～午後2時、次のコースで行われます。ご声援下さい。  
市役所前出発⇒新庄⇒国道158号線⇒中野町⇒中津川⇒南新在家⇒土布子⇒森目⇒土打⇒松丸⇒橋爪⇒南六呂師(折り返し)⇒伏石⇒上野⇒井ノ口⇒蔵生⇒木落⇒佐開⇒稲郷⇒国道158号線⇒新庄⇒市役所前決勝

## ◆農業結婚相談は月2回

市農業委員会が行っている農業後継者結婚相談は、10月からは毎月第1・第3土曜日午後1～4時、有終会館で開いています。

相談の秘密は堅く守られます。お気軽にご利用下さい。

## ◆県民手帳は書店で

これまで区長さんをとしてお求めいただいた県民手帳は、ことしからは市内の主な書店で発売されることになりました。

11月上旬に発売され、定価は1冊260円です。

# 市民カレンダー

11月10日～11月24日

|     |               |                                 |                                          |                      |                                                                                                      |                                           |                         |
|-----|---------------|---------------------------------|------------------------------------------|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|-------------------------|
| 10月 | 人権相談<br>成人病検診 | 10.00～15.00<br>13.30～15.00      | 上庄公民館<br>宝慶寺あまご亭                         | 行政相談                 | 10.00～15.00                                                                                          | 上庄公民館                                     |                         |
| 11火 | 世界平和<br>記念日   | 少年相談<br>インフルエンザ                 | 9.00～12.00<br>13.30～14.00                | 市役所<br>阪谷小学校         | 交通事故相談<br>法律相談                                                                                       | 10.00～16.00<br>13.00～16.00                | 市役所<br>商工会議所            |
| 12水 |               | 少年相談<br>結婚相談<br>行政相談            | 9.00～12.00<br>10.00～15.00<br>10.00～15.00 | 市役所<br>有終会館<br>大野公民館 | 目の更生相談<br>精神衛生相談                                                                                     | 13.00～15.00<br>14.00～16.00                | 有終会館<br>大野保健所           |
| 13木 |               | 少年相談<br>心配ごと相談                  | 9.00～12.00<br>9.00～12.00                 | 市役所<br>市役所           | 金融相談<br>くらしの講座                                                                                       | 13.00～16.00<br>13.30～16.00                | 商工会議所<br>大野公民館          |
| 14金 |               | 行政相談                            | 10.00～15.00                              | 大野公民館                | <b>今月の納税</b><br><br>国民健康保険税 第3期分<br><br>12月1日までに納めて下さい。                                              |                                           |                         |
| 15土 | 七五三           | 農業結婚相談                          | 13.00～16.00                              | 有終会館                 |                                                                                                      |                                           |                         |
| 16日 | 家庭の日          | 休日当番医<br>内科 杉山医院<br>外科 尾崎整形外科病院 |                                          |                      |                                                                                                      |                                           |                         |
| 17月 |               | 人権相談                            | 13.00～16.00                              | 大野公民館                | 経営相談                                                                                                 | 13.00～16.00                               | 商工会議所                   |
| 18火 | 米の日           | 社会保険年金相談<br>インフルエンザ             | 10.00～15.00<br>13.30～14.00               | 大野織物工業組合<br>富田小学校    | 少年相談<br>1歳半児検診                                                                                       | 9.00～12.00<br>13.00～14.00                 | 市役所<br>有終会館             |
| 19水 |               | インフルエンザ<br>麻しん                  | 13.30～14.00<br>13.30～14.30               | 上庄小学校<br>医師会館        | 少年相談<br>結婚相談                                                                                         | 9.00～12.00<br>10.00～15.00                 | 市役所<br>有終会館             |
| 20木 |               | 心配ごと相談<br>交通事故相談<br>無医地区診療      | 9.00～12.00<br>10.00～16.00<br>13.00～15.00 | 市役所<br>市役所<br>下打波集会場 | 行政相談<br>3歳児検診<br>労務相談                                                                                | 10.00～15.00<br>13.30～14.30<br>13.00～16.00 | 富田公民館<br>大野保健所<br>商工会議所 |
| 21金 |               | インフルエンザ                         | 13.30～14.00                              | 勝原小学校                | <b>◆援護相談にどうぞ</b><br><br>軍人恩給や戦傷病者・戦没者の援護について、11月17日(日)午前9時30分～午後3時、有終会館で援護相談が行われます。疑問をお待ちの方はお気軽にどうぞ。 |                                           |                         |
| 22土 | 小満<br>雪月      |                                 |                                          |                      |                                                                                                      |                                           |                         |
| 23日 | 勤労感謝の日        | 休日当番医<br>内科 高井医院(稲郷)<br>外科 石田病院 |                                          |                      |                                                                                                      |                                           |                         |
| 24月 |               | 休日当番医<br>内科 岩治医院<br>外科 松田外科医院   |                                          |                      |                                                                                                      |                                           |                         |

校庭の片隅に、農家の庭先に、鉄道の沿線に、コスモスがなよなよと秋の風に揺れている。花言葉は「乙女の真心」いかにもそんな感じを受ける清楚(そ)な秋の花である▼秋雨のそぼ降る六間通りを歩く。舗道も屋根も並木もぬれそぼって、灰色の中に包まれる。落葉がベッタリと舗道にへばりつく。その落葉を踏みながら自分の心に引つかかった落葉を思う。ひとひらの愁いが影を落とす▼朝、顔を洗う時に水の冷たさが手にしみ、夜ふとんにもぐり込む時ヒンヤリと寒さを感じるように。コオロギの声もチロロ、チロロと消え入るように細く、晩秋の夜のわびしさを一層かきたてるようだ▼町を行き交う人々の胸を鮮やかな赤い羽根が色どる。そんな募金などしなくとも、国が福祉予算を十分に持てばよい、などの意見もある。それはそれとして、赤い羽根は善意のしるしである。みんなで手をつないで住みよい社会を築こうではないかという願いなのだ▼十一月三日は柳廼社の祭礼。タイ焼・綿菓子・タコ焼・トウモロコシなどを売る屋台店の立ち並ぶ中を、雑踏にもまれながら歩く。芳しい香りがあったりに漂い、ひととき幼い自分に戻る▼物には始めがあり終わりが始まる。いま、秋の主役たちの前にどんちようが下りようとしている。そして楽屋では、冬の主役たちがスタンバイをしている。(D生)

